令和8年度

中海小だより

令和8年11月号



校長　中川　洋子

今年度頑張ってきたことが一人ひとりの成長に・・・秋の実りとして



早いもので11月に入りました。子どもたちは、学校生活の中で、日々の学習や活動に精一杯努力しています。中海小学校の子どもたちは、本当に素直で真っ直ぐ・・・4月から頑張ってきたことが「秋の実り」となって、子どもたちの成長につながっていけるよう共に歩んでいきたいです。

めざす児童像「すすんで学ぶ子・思いやりのある子・じょうぶな子」

中海小学校創立以来の目標です。この目標に向かって頑張る子どもたちでいっぱいです！

魔法の言葉・・・「ありがとう」



思いやりのある子

今月の全校集会で、「魔法の言葉」について話をしました。

「ありがとう」は、漢字で書くと「有難う」・・・「有ることが難しい」ことから「めったにないこと」「あまりないこと」なので、「ありがとう」と伝えることは、そのくらい貴重なことへの嬉しい気持ちや感謝を伝える言葉です。でも、実際には、「ありがとう」を伝えられる場面はたくさんあります。

今回、子どもたちに授業等で直接関わることは少ないですが、学校を支えてくださっている職員を紹介しました。校務員の山形さん、吉村さん、スクールサポートスタッフの山下さんです。

子どもたちが安全に気持ちよく過ごせるように、自分たちがあまり見えない所でお仕事してくださっています。そんな「見えない所」を見ていくことで、「当たり前ではない」ことを感じてほしいと思っています。（どんなお仕事をされているかは、子どもたちに聞いてみてください）

じょうぶな子

持久力アップウィーク



どの学年も、体育の授業で、持久力アップウィークに合わせて、「持久走」に取り組みました。子どもたちは、自分の立てた目標に挑戦し、自分のペースで最後まで走り切る力を付ける機会となりました。また、周りの子どもたちからの「がんばれ～！」「あと少し～！」などの温かい励ましの応援も力となっていました。長く走ることは辛いことではありますが、友だちから力をもらって、自分自身に挑戦することはとても大切なことです。持久力と共に、あきらめずに挑戦できる強さが身に付くことにもつながったのではないかと感じました。





学校生活から～かすかみっ子の歩み～

すすんで学ぶ子

任命式（後期）

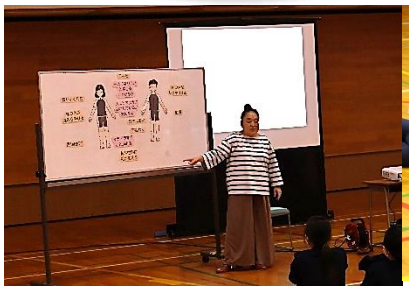




児童会、各委員会もいよいよ後期の活動となりました。運営委員長をはじめ、後期の各委員長や学級委員の子どもたちも本当にやる気いっぱい。

呼名の返事や所信表明からも、「中海小学校をさらに素敵な学校にしていこう」という気持ちが伝わってきました。そのために、何ができるか、どうしていったらいいのかを一緒に考えていってくれることを期待しています。

授業参観・学校保健委員会





授業参観と学校保健委員会が行われました。学校保健委員会では、「大切なあなたのことをはなそう」との演題で助産師、社会福祉士、思春期保健相談士である川島真希さんのご講演をお聴きしました。その中で、自分の気持ちの伝え方を児童同士で体験しました。

文化庁「舞台芸術等総合支援事業（学校巡回公演）」牧阿佐美バレエ団　本公演　「白鳥の湖」



11月12日に牧阿佐美バレエ団による公演が行われました。中海小学校の体育館が大きな舞台にかわり、本物の世界を間近で感じる素晴らしい時間となりました。しなやかでダイナミックな美しい踊りに子どもたちもくぎ付けになりました。第1部では、6年生の児童8名が一緒に演技し、とてもいい思い出になりました。

校外学習



生活科や社会科の学習として、10月～11月にかけて学年ごとに出かけました。学校では体験できないことや学べないことを深く知る良い時間となりました。

子どもたちの様子は、ホームページに掲載しました。











6年生8名の子どもたちの踊りです。
きまっています！